

cocoronet

Vol.20



発行元・編集：山本辰哉 E-mail : mttatsu1@gmail.com

URL : tatsuya-yamamoto.net



岩国市議会議員の山本辰哉です。

12月議会の一般質問についてご報告させていただきます。

今回は「川西のスケートボード場」「近延川兼用護岸の整備」「南河内・北河内乗合タクシー事業」等について市の見解を伺いましたので是非ご一読ください。

質問と答弁

☆「岩国スケートパークの整備」について（スポーツ推進課）

川西にあるスケートボード場の早急な整備を求める

今後市として必要な対策を早急に検討する

Q

「13歳真夏の大冒険！」の実況から4ヶ月が経過した今でも、川西にあるスケートボード場「岩国スケートパーク」の改修を望む声を複数頂いている。改めて東京五輪の効果に驚いているところだが、本スケートボード場の完成から20年が経過した現在、特に路面の経年劣化が著しく進み、現状では安全性が担保出来る公共施設とは言えない状況にある。整備等を含め早急な対策を求める。

A

この度の質問を受け、直ちに要望を頂いている方と現地で直接お会いして聞き取りを行った。そして利用状況や望まれる改修箇所などを調査してきたので、今後市として必要な対策を早急に検討する。

- ☆「近延川兼用護岸市道土生1号線の整備計画」について（道路課・河川課）
・整備計画及び県との連携について

河川管理者と連携した近延川護岸の整備を強く求める

山口県と連携を図り災害とならないよう補修対応をしていく

Q 南河内地区を流れる2級河川である近延川護岸の経年劣化により、市道土生1号線が毎年のように陥没している。
その大きな要因は、護岸の浸食からくる地中の空洞化と考えられている。
幸い出張所の懸命なパトロールや地域の皆さんからの一報で、大事故には繋がっていない状況だが、年中この土生1号線からコーンが消えることが無い。本線は地域の主要な生活道路であり、本市が委託している過疎地域乗り合いバスの運行ルートでもある。「近延川は山口県管理の2級河川なのにまた今回も質問するのか」とおもうかもしれないが、これは極めて緊急性の高い案件である。今後の県と連携した整備計画について伺う。

A 陥没などの補修回数が多い川沿いの路線などは、その主な原因が、古い河川護岸の最下部の根の部分の洗堀が進行し、増水時の吸出しにより空洞となっている。そのため、舗装が沈下するなどの変状を確認した場合は、河川の護岸下までしっかり調査し、河川の吸出しが要因となっていると考えられる場合は、河川管理者と連携を図り、大きな災害とならないよう、補修対応をしていく。

- ☆「南河内・北河内地区乗合タクシーの事業化」について（地域交通課）
・今後の事業化に向けた有意性について

事業化を選択しない地区においては従来の運行を継続できるのか？

地区ごとに現状の継続を考えている

Q 乗合タクシーの実証運航を実施した3地区のうち小瀬地区、北河内地区は今後この事業を進めて欲しい、しかし南河内地区は従来通りが良いということになれば、南河内地区に限り従来の運行を継続できるのか？

A 3地区ごとに乗合タクシーの選択が可能であり、選択されなかった地区は現状の継続を考えている。また、後に変更の意が各地区で発現すれば、多少時間は掛かるが対応も可能と考えている。

徒然記

なかなか新型コロナウイルスは終息しませんが、各々が自分なりに上手く付き合っていく方法を模索する時期に来たような気がします。2022年、皆様にとって幸多き年になりますよう祈念申し上げます。

☆心の川柳 どこで買う 夢を耕す 好運氣

